

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 多治見北高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年2月4日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 岐阜県立多治見北高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	宮嶋 浩	バロー文化ホール館長
委員	長壁 和恵	会社員 元PTA役員(欠席)
	加藤 恵子	消費生活協同組合理事 元PTA役員
	田口 尚之	愛知教育大学教授
	水野 知久	東濃子ども相談センター所長(欠席)
	森 教代	PTA副会長
学校側	白石 秀史	校長
	山下 サツキ	事務部長
	西田 智子	教頭
	稲垣 真太郎	教務主任
	加藤 大	生徒指導主事
	上田 泰彦	進路指導主事

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 校長挨拶
- (2) 今年度の反省
- (3) スクールミッションについて
- (4) 意見交換及び協議

意見1: スクールミッションについてはかなり短くなった。校訓の「自主・自律・自学」は昔からなじみのある本校の特色である。他の文言は普遍的な感じのするものになった。

意見2: 今年度は国民文化祭や総合文化祭があり、高校生が地域で活躍する姿がよく見られた。少子化の中で、地域の施設と子どもたちのつながりが大切にされていくとよい。

意見3: ボランティアの経験を生かしての進学も総合型選抜などでは見られるようになってきた。進学目的のボランティアではなく、自分の世界を広げる意味でボランティア活動や資格取得の挑戦などもしていき、生かせる場があれば生かしていくとよい。

意見4: 2月に入っても3年生の生徒は基本的にこれまで通りの登校を続けるとのことで、生活リズムを崩さずに大学受験に臨んでいけるのはよい。

意見5: AO入試と言っていたものが総合型選抜となったり、昔は推薦試験の受験は非常に少なかったのが、併願制の推薦入試の利用が増えたり、入試方法が多様になっていて、変化が多いと感じる。

⇒教員の研修だけでなく、情報発信の工夫したり進路資料室を利用しやすいように整えたり、生徒自身が入試の変化に対応していけるように学校もいろいろと工夫をしている。

(5) 授業見学・校内視察

(6) 会長挨拶

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、本校のスクールミッションについて承認が得られた。